



博物館学校地域連携  
教育支援事業

メールマガジンWebページ

NEWS



YAMAGUCHI MUSEUM  
山口県立山口博物館

開館100周年記念マスコットキャラクター なっとくん

2012年9月(5号)

## 2012年トリプル金の最後を飾る！金星食

5月21日の金環日食、6月6日の金星の太陽面通過に続き、3つめの金、月によって金星が隠される現象（金星食）が8月14日未明にありました。この金星食は日本では2003年5月29日以来、9年ぶりの現象でした。

残念ながら山口では天候に恵まれず、観望できなかつたのではないのでしょうか。下の写真は宮崎でミュージアム・ティーチャーの一人が撮影したものです。金星が月に隠される潜入の場面、再び月から金星が見え始める出現の場面がわかります。



(潜入の場面 2時40分ころ)



(出現の場面 3時20分ころ)

(※ 観測場所により潜入、出現の時刻は異なります。)

## 10月・11月の行事案内

- 10月14日(日) チャレンジ!ロボットプログラミング(第2回)  
13:30~15:00 要申込(20名) 当館
- 地質めぐり(第2回)周防大島町周辺の地学探訪  
10:00~15:00 要申込(26名) 周防大島町
- 10月21日(日) 小型ほ乳類観察会(第1回)  
10:00~15:00 要申込(10名) 周南市
- 10月26日(金)~11月11日(日)

## サイエスやまぐち2012 「第66回山口県科学作品展」 11月6日(火) 科学研究発表会

- 11月11日(日) 学芸員トーク「植物と巡る世界一周の旅」  
13:30~15:30 要申込(30名) 当館
- 11月16日(金)~18日(日)「木星・天王星・海王星を見る会」  
19:30~21:30 自由参加 当館
- 11月18日(日) 実験!エレキラボ  
13:30~15:00 要申込(30名) 当館
- 小型ほ乳類観察会(第2回)  
10:00~15:00 要申込(10名) 周南市

## 9月30日「中秋の名月を見る会」の開催について

9月30日（日）19：00から当館で、「中秋の名月を見る会」を開催します。対象は一般で自由参加となっています。是非ご参加ください。



皆さんはなぜこの時期にお月見をするかご存じでしょうか。月見という言葉が辞典で引いてみると、「月をながめて賞すること。特に旧暦八月十五日（中秋名月）と九月十三日（十三夜）を賞すること。すすきの穂や里芋、栗、団子などを供えたりする。お月見。観月」とあります。（小学館国語大辞典）

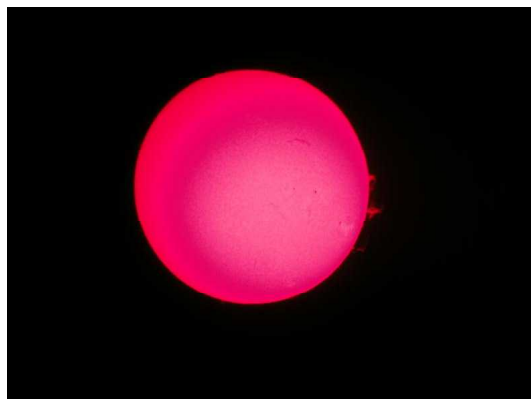
この時期は満月を見るのに適しています。季節ごとの満月の天球上での高さ（高度）は、太陽と逆で、夏は低く、冬は高くなります。春や秋は見上げるのに適した高さの満月となるのです。また、春は「春がすみ」という言葉があるように、天気の良いさでは断然秋が有利となるわけです。

旧暦は月の満ち欠けで日付を決めています。そのため中秋の名月や十三夜の日付は年によって変わってきます。2012年の中秋の名月の日は9月30日、十三夜の日付は10月27日となります。2013年はそれぞれ9月19日、10月17日、2014年は9月8日、10月6日です。また、中秋の名月というと常に満月を想像してしまいがちですが、満月とならない日も多く、2014年は9月9日が満月になり、1日の差があります。2016年は2日遅れで満月になるようです。

お供えの風習も各地でかなり異なっています。なにはともあれ、お団子やおはぎを食べながら、中秋の名月を観望したいものですね。

## 出前授業について

最近、小学校4年生の天体学習の出前授業が増えてきています。昼間に行う天体学習は本物にふれる機会が少なかったのですが、天体望遠鏡（投影板使用）での太陽の黒点の観察や太陽望遠鏡を使用しての太陽のプロミネンス等の観察などを積極的に取り入れています。中学校3年生もこの時期に天体学習を行う学校が多いのではないのでしょうか。中学校での出前授業に是非ご一考ください。なお、貸し出し教材に天体望遠鏡を用意しています。博物館での簡単なレファレンスの後、貸し出しが可能です。ご相談ください。



←（太陽望遠鏡を通して見た太陽表面の様子）

○大変人気であった「勾玉づくり」の出前授業ですが、本年度の予約は終了となりました。メルマガ第4号でも紹介しましたが、「埴輪づくり」等に対応していきたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。